

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 術後鎮痛としての脊髄くも膜下モルヒネ投与の検討

[研究責任者] 名市大麻酔科 森下博隆

[研究の背景]

胸腹部手術の術後鎮痛として、硬膜外麻酔が一般的に行われている。しかし、周術期に抗凝固療法が必要な症例では硬膜外麻酔が施行しにくい場合もある。そのような症例に対して 2021 年 3 月より脊髄くも膜下腔へのモルヒネ投与をはじめた。脊髄くも膜下腔へのモルヒネ投与は緩和ケア領域や帝王切開の術後鎮痛として行われているが、全身麻酔の術後鎮痛としての使用は報告が少ない。

[研究の目的]

術後鎮痛としての脊髄くも膜下腔モルヒネ投与の有効性を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021 年 3 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日までの間に当院で全身麻酔手術を施行した方のうち、脊髄くも膜下腔モルヒネ投与を併用した方。

●研究期間：西暦 2021 年 11 月 26 日～2022 年 10 月 03 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：検体は使用しません。(通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。)

カルテ情報：年齢、性別、バイタルサイン、血液検査、術式、手術部位、手術時間、術後使用した鎮痛薬、術後疼痛スケール

●検体や情報の管理

当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発

表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医局麻酔科 森下博隆（名市大麻酔科） 糟谷琢映

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913